

いるま

No.185

平成30年12月
定例会号
2019年2月1日発行

市議会

だより

12月定例会

31議案等を審議	2 P
議会運営委員会視察報告	2 P
定例会議決結果	3 P
平成29年度決算	4 P
16名が一般質問	8 P
市民の声	16 P



第4回定例会

31 議案等を審議

■人事案件 2 件 ■条例 3 件 ■一般議案 9 件 ■補正予算 5 件
■平成 29 年度年決算認定および関連議案 12 件

条 例

一部改正条例	議案第 98 号	入間市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
	議案第 99 号	入間市墓地、埋葬等に関する法律施行条例の一部を改正する条例
	議案第 100 号	入間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

※色の付いた議案は賛否が分かれた議案となります。

選挙管理委員会委員及び補充員が決まりました

平成 30 年 10 月 2 日を以って任期満了となる入間市選挙管理委員会委員及び補充員については、9 月定例会最終日に指名推選により次の方々を選出しました。

選挙管理委員会委員

瀧澤 啓次 氏 平岡 恵子 氏
住永 保博 氏 黒田 毅 氏

選挙管理委員会補充員

豊泉 時男 氏 原 嶋 秀男 氏
齋藤 勲 氏 寺岡 豊博 氏

委員会 視察報告

議会運営委員会

11月1日午前 埼玉県所沢市
11月1日午後 埼玉県朝霞市

所沢市

議会改革の取り組みについて 議会閉会中でも、委員会の全会一致を前提に、文書による質問を執行部に提出できる。回答文書は全議員に配布され、市民へも公表する。

また、議会広聴機能強化の一環として、カフェスタイルによる市民と議会との懇談会の『みみ丸カフェ』を実施している。

年度末に、議会運営と広聴広報の2委員会が、所轄事業の自己評価を実施している。

『政策討論会』は、議員間の討論を通じての政策立案や提言で、交通政策、人口減と街づくり、などがテーマとなっている。

『議会報告会』は、議会が設営し、多くの市民に発言の機会があるように運営に配慮して実施。報告では議員は原則として個々の意見や見解は述べない。要望については、班で整理して議長に報告し、いただいた意見とその回答は、HPへ掲載する。

朝霞市

動画共有サービスを活用しての議会映像配信について 議会改革推進の一環として、平成24年9月に調査検討を始めた。

ライブ・録画編集作業で随時見直しを行うことを前提に、平成27年3月から配信を開始した。

導入経費は、議場映像・音声配信工事費、インターネット回線工事費や、動画配信のためのパソコン一式や周辺装置・備品等購入費で、合計約61万9千円となった。

ランニングコストは、回線使用料とプロバイダ使用料で、年間約7万3千円である。

その後、無料の動画配信サービスの終了により、別の配信サービスを検討し移行した。平成30年9月から、録画配信に加えて、ライブ配信を検討の上、行うことになった。

無料配信のため、録画配信の期間が協議されず、業者のサポートを受けられないため、有料配信への切り替えも課題である。

平成30年12月定例会（第4回定例会）議決結果

賛否が分かれた議案等

表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員、欠は欠席の議員、退は退席の議員

議案等番号	議案等の件名	自由民主党入間市議団										公明党入間市議団		日本共産党入間市議団		民進党入間市議団			賛成	反対	議決結果等							
		宮岡治郎	金子俊雄	平山五郎	小島清人	横田淳一	紺野博哉	鈴木洋明	松本義明	内村忠久	古仲リカ	長谷川渉	金澤秀信	永澤美恵子	向口文恵	末次正	安道佳子	吉澤かつら				小出亘	佐藤匡	坂本優子	細田智也	野口哲次		
市長提出議案	83	平成29年度入間市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	認定	
	84	平成29年度入間市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	認定
	85	平成29年度入間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	認定
	86	平成29年度入間市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	認定
	98	入間市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	原案可決
	100	入間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	原案可決

全会一致の議案等

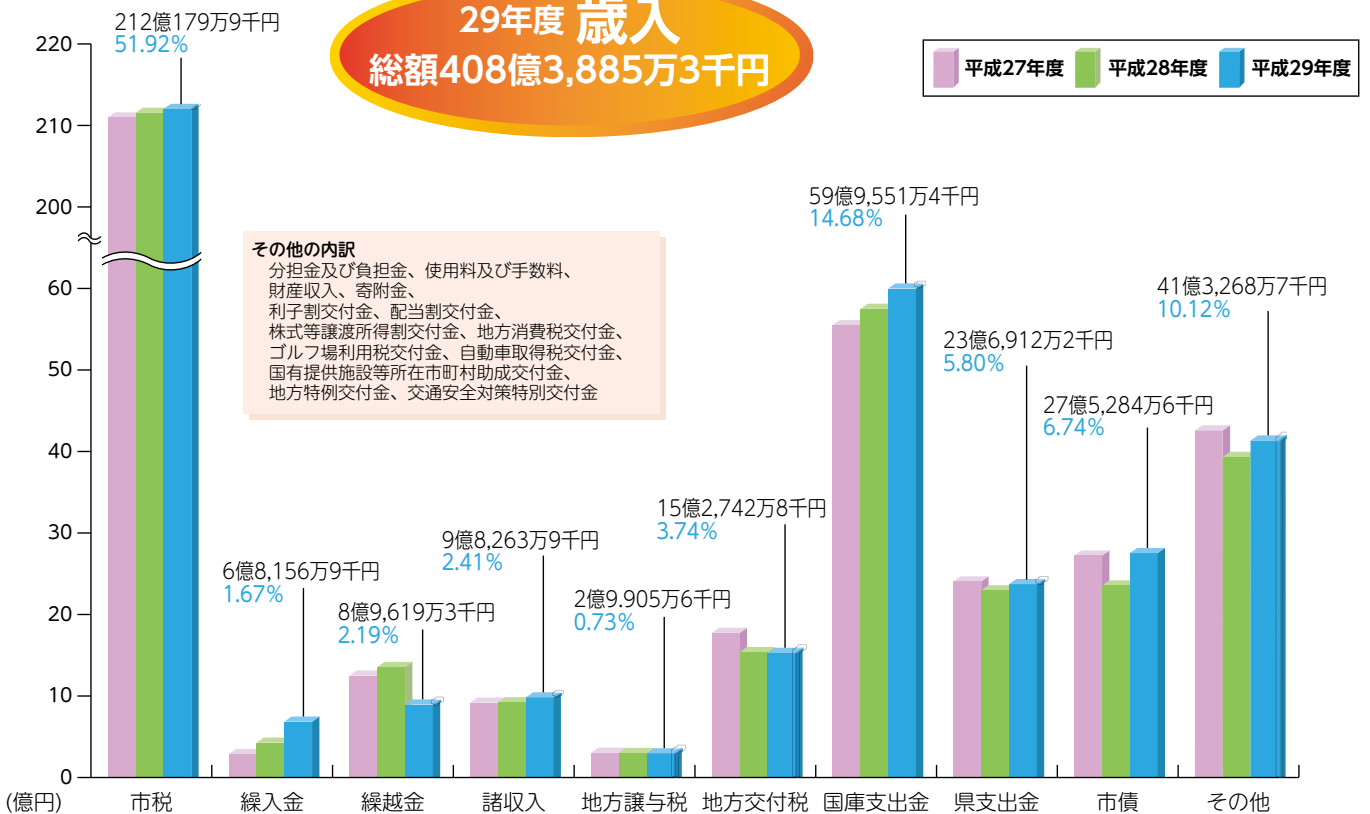
議案等番号	議案等の件名	
市長提出議案	87	平成29年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
	88	平成29年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
	89	平成29年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
	90	平成29年度入間都市計画事業狭山台土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
	91	平成29年度入間市水道事業会計の利益の処分について
	92	平成29年度入間市水道事業会計決算認定について
	93	平成29年度入間市下水道事業会計の利益の処分について
	94	平成29年度入間市下水道事業会計決算認定について
	96	人権擁護委員候補者の推薦について
	97	人権擁護委員候補者の推薦について
	99	入間市墓地、埋葬等に関する法律施行条例の一部を改正する条例
	101	市道路線の認定について（市道F701号線）
	102	市道路線の認定について（市道G690号線）
	103	市道路線の廃止について（市道C798号線）
	104	入間市市民会館の指定管理者の指定について
	105	入間市産業文化センターの指定管理者の指定について
	106	入間市農村環境改善センターの指定管理者の指定について
	107	入間市扇台福祉作業所の指定管理者の指定について
	108	入間市立黒須保育所の指定管理者の指定について
	109	入間市体育施設の指定管理者の指定について
110	平成30年度入間市一般会計補正予算（第3号）	
111	平成30年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
112	平成30年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	
113	平成30年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	
114	平成30年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	

平成 29 年度決算の内容をチェック

※表またはグラフ中の数値は、表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は一致しない場合があります。

自主財源250億4,840万6千円 (61.3%) 依存財源157億9,044万6千円 (38.7%)

市税負担額 市民1人あたり 14万2,685円
1世帯あたり 32万7,724円



平成 29 年度入間市特別会計決算一覧表

	歳入	歳出	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
国民健康保険特別会計	188億4,408万2千円	180億4,041万2千円	0円	8億367万円
後期高齢者医療特別会計	16億5,022万6千円	16億4,346万8千円	0円	675万8千円
介護保険特別会計	93億3,188万2千円	90億8,425万1千円	0円	2億4,763万1千円
武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計	1億2,032万9千円	9,625万5千円	1,988万6千円	418万8千円
入間市駅北口土地区画整理事業特別会計	4億8,560万1千円	3億962万6千円	4,430万5千円	1億3,167万円
扇台土地区画整理事業特別会計	4億6,979万8千円	3億8,369万9千円	2,306万5千円	6,303万4千円
狭山台土地区画整理事業特別会計	1億6,867万8千円	5,520万1千円	1億435万3千円	912万4千円

実質収支額=歳入-歳出-翌年度へ繰り越すべき財源

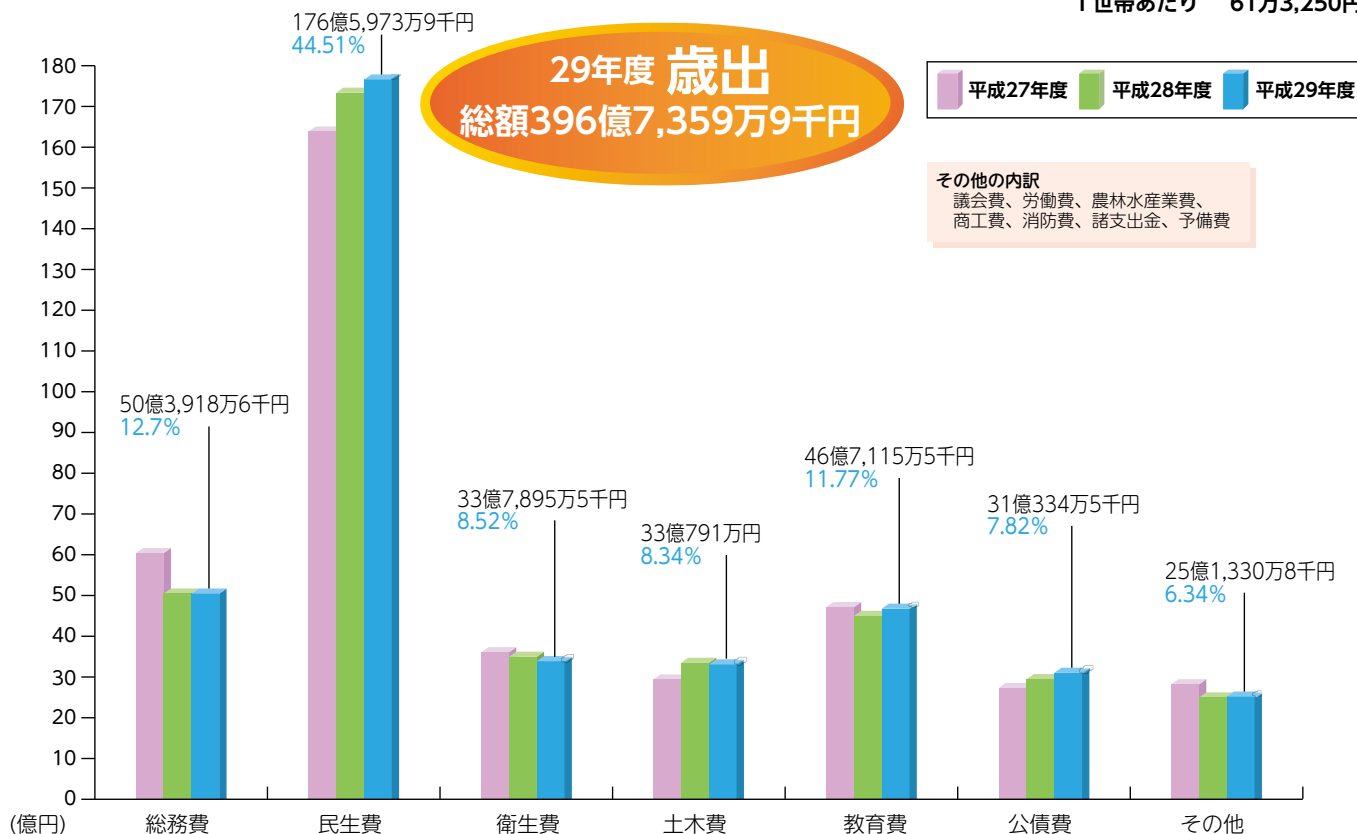
決算

平成29年度の決算について、市長から次のとおり概要報告がありました。
各会計の予算執行につきましては、事業進捗上やむを得ない理由で一部の事業は繰越措置をいたしましたが、予定していた事業は概ね執行できました。

平成29年度の一般会計歳入歳出については、差引額11億6,525万3,467円となり、翌年度への繰越額を除き実質収支額は9億8,755万3千円で決算いたしました。

平成30年4月1日現在 人口148,592人 世帯数64,694世帯

市民1人あたり 26万6,997円
1世帯あたり 61万3,250円



議会人事

9月定例会において、決算特別委員会が設置され、新たに特別委員が選出されました。

決算特別委員会

- | | |
|---------|---------|
| ◎ 小島 清人 | ○ 長谷川 涉 |
| 佐藤 匡 | 吉澤 かつら |
| 末次 正 | 向口 文恵 |
| 内村 忠久 | 松本 義明 |
| 坂本 優子 | |

◎は委員長 ○は副委員長



委員会で現地視察を行った藤沢南学童保育室及び藤沢南第二学童保育室

討 論

一般会計・特別会計



平成29年度一般会計・特別会計の決算について賛成・反対の討論をしました。各会派の討論の概要を掲載します。

討論の内容は、市ホームページの「会議録検索」ページでご覧いただけます。（本定例会の会議録は次回定例会開会までに掲載する予定です）

反対

日本共産党入間市議団

一般会計討論

市はアベノミクスを評価しているが、入間市では就学援助利用の子どもが増加。納税義務者数は増加だが働かなければ食べていけない人が増えているからだ。給与と所得者の平均所得は減少している。こうした市民生活の厳しさを直視しないことは問題。また①公共施設統廃合計画を市民の声を無視して進めたこと②税滞納者の差押えが急増。徴収強化より市民に寄り添った対応を③保育園・学童保育の待機児が解消されず、支援員も不足。支援員は処遇改善で確保すべき④シルバーサービスのタクシ一券を廃止したこと。以上の理由から反対。

賛成

自由民主党入間市議団

一般会計討論

歳入では、市税収入が増収となっている。景気回復・雇用情勢の改善の影響もあるが、収納努力による収納率の向上も増収の要因であると推察する。交付金も増額となった。歳出では、中橋歩道拡幅整備、コミュニティバスの運行及び実証運行、マイナンバー制度の活用、保育や子育て支援事業の拡充など、各事業が効果的に執行され、市民サービスの向上が着実に推進されている。社会保障関連経費の負担割合が大きくなり、公債費比率も上昇し、厳しい財政状況が伺われるが、持続可能な運営を期待する。

賛成

公明党入間市議団

一般会計討論

歳入は市税収納率向上と、市民税・法人市民税の増収は評価。歳出では、コミュニティバス運行事業推進・道路防犯灯の一斉LED化による経費削減と自治会役員の負担軽減・小中学校のエアコン導入などを評価。決算審査をとおし次の6点を要望。

- ①女性の活躍推進行動計画の推進
 - ②太陽光発電・雨水利用の防災対策への活用
 - ③狭山茶の日本農業遺産登録
 - ④放課後等デイサービスの適切な運営
 - ⑤児童発達支援センター事業の体制構築
 - ⑥子ども支援員の充足
- 今後もさらなる行財政改革と市民福祉向上に期待して、賛成する。

賛成

民 進 の 会

一般会計討論

歳入では、市民税全体で前年度対比1.3%増、市税の収納率も前年度を上回る99.28%と大きな成果である。市民の皆様の納税に対する意識の高さに感謝すると共に、担当部署の収納体制の整備・拡充の成果を評価する。また、住みやすさが実感できる町を目指し、各事業が繰越し事業を除き、順調に終了できたことを評価する。今後、社会保障関係費の増加や公共施設マネジメント等の推進により、財政需要が膨らむことが見込まれる。行政運営の効率性を追求しつつ、必要な施策には全力で尽くすことに期待し、賛成とする。

反対

日本共産党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

入間市の国保被保険者においては8割弱が所得200万円以下となっており、払える保険税にするべきである。全国知事会も国庫支出の増額を求めている。国に国庫補助金増額を求めるとともに、法定外繰入金増額、軽減措置の拡充を求める。

(後期高齢者医療特別会計)

制度が発足して今年の4月で10年となった。年金削減、消費税増税、老老介護等で後期高齢者が置かれている状況は日増しに厳しくなっている。深刻な状況がある中で軽減措置の縮小・廃止には反対である。

(介護保険特別会計)

3年ごとの見直しで保険料の負担は増え続けている。国庫負担を介護制度が始まる前の50%に戻すべき。負担増とサービスの改悪が続く介護保険制度の見直しを求める立場から、本決算を認める事はできない。

賛成

自由民主党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

国保税の収納率は向上し、被保険者の公平性の確保の努力により、国庫支出金の交付金を多く獲得している。保険事業の更なる推進を望む。国保広域化の下、県と共同しての地域医療の堅持を要望し、賛成する。

(後期高齢者医療特別会計)

保険料の収納率は上昇し、負担の公平を図るための施策を講じている。保険者である埼玉県後期高齢者広域連合への納付金も、保険基盤安定負担金を含め適正に執行されており、適切な対応を要望し、賛成する。

(介護保険特別会計)

地域包括支援センターを核とした、総合相談事業・介護予防事業に、多くの高齢者の参加を得て、介護認定者数の増加を抑制し、介護給付者の増加を抑制し、介護保険料の上昇を抑制でき、評価する。今後も、適正な介護給付の執行を要望し、賛成する。

賛成

公明党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

歳入では、前年度対比の収納率、滞納繰越分で数ポイント上回ったことや経営努力で算定される交付金の増額は評価。30年度からの広域化で3,400億円の財政支援やサービスの拡充に期待。国保事業と介護予防の一体化で健康寿命の延伸に向け、主体的なさらなる努力の継続を要望し賛成。

(後期高齢者医療特別会計)

現在は制度も定着。低所得者の特例措置の廃止は、制度移行に伴う特例的なもの。今後は地域包括ケアシステム構築を推進し、福祉の充実と医療費抑制に期待し賛成。

(介護保険特別会計)

制度移行の過渡期ではあるが、日常生活支援総合事業の担い手不足解消に努めることや、今後は認知症支援や在宅医療と介護の連携体制の整備も課題。充実した地域包括ケアシステムの早期の実現に期待し賛成。

賛成

民進の会

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

国民健康保険は、構造的な問題を抱えており、実質単年度収支は赤字と厳しい財政運営である。そのような中、収納率が前年を上回ったことを評価。また、国庫支出金では、保険者の経営努力に対する交付金を獲得したことを評価。引き続き、国民皆保険の持続に向けた努力に期待し賛成。

(後期高齢者医療特別会計)

被保険者の保険料負担の公平性から納付が厳しい方の窓口相談の機会を設けるため、被保険者証の窓口交付を実施しており、前年より収納率が上昇したことを評価する。今後も丁寧な対応の事業運営に期待し賛成。

(介護保険特別会計)

地域のニーズに合わせた総合相談事業の拡充を評価する。高齢者の方が住み慣れた地域で安心な生活ができるよう、更なる地域包括ケアシステムの推進に期待し、賛成。



庁舎耐震工事・ 学校統廃合見直し

小出 亘 議員

質問 庁舎の耐震化について新しく建て替えるとしている。日本建築学会ではコンクリートの建築物は100年以上の耐久性があるとしている。耐震工事での対応で今あるものを使えるだけ使うという方向に転換すべきではないか。

市長 経済的に建て替えが有利。

質問 西武地域では西武中と野田中を2022年に統廃合し、西武中を残す計画が確定しようとしている。方向は大きく変わったが、野田地域の住民の納得を得られない。地域ごとに実情が違うものを公共施設3割削減前提の9地区に分割し、小中学校、公民館をひとつずつ配置する計画が矛盾を引き起こしている。地域ごとに実情に合わせて住民主体で見直すべきではないのか。

市長 説明会、パブリックコメントで意見を聞きたい。

質問 小谷田ガーデンハイツ周辺のガードレールが錆びており住民から改善してほしいとの声が上がっているが。

都市整備部長 景観の問題であり、予算を伴うので住民に改善していただきたい。

質問 県道富岡入間線仏子宮岡教会前には歩道が無いため危険になっている。歩道設置を。

都市整備部長 県に確かめる。



錆のひどい小谷田ガーデンハイツ周辺のガードレール

質問 道路の幅員等についての想定は。

市長 全長約300m、幅員が20m程度。

質問 道路の先行整備の接続点である入間市駅南口交通広場の拡張が必要では。

市長 同広場のあり方を併せて検討する。

質問 災害時の水の確保と市民への給水について。

上下水道部長 被害の状況に応じて応急給水、応急復旧、資機材の調達等を速やかに応援要請する。市民の皆さまにも飲み水などの備蓄をお願いしたいと考えている。



入間市駅前側留保地
南口交通広場から馬頭坂線へ道路の先行整備



再生可能エネルギーの 活用推進を

内村 忠久 議員

質問 再生可能エネルギー活用推進に関する検討取組み状況や方向性は。

市長 住宅用省エネルギー設備に補助対象を拡げ、住宅用太陽光発電システムの利用拡大に努める。今後も利用拡大のため、設備設置費の補助事業を継続していく。

質問 再生可能エネルギー活用は、市民に夢を提供し産業振興、シティセールス効果も期待できる入間市独自の取組みを。

市長 新たな発電設備を整備し長期間継続して電力事業を行うことは困難である。

質問 入間市駅前側留保地活用に向けた今後の取組みは。

市長 入間市駅南口交通広場に向かう道路を延長し、馬頭坂線に接続する道路の先行整備の具体化に着手したいと考えている。

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



RPA導入で作業の効率化を

末次 正 議員

質問 RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)は、「定型業務の手順」をパソコンに覚えさせ、自動化することで作業時間の80%削減する効果を上げている。RPAの有効性についての認識を問う。

企画部長 今後、行政サービスの向上に資する有効な道具であると認識する。

質問 業務を選定し、効果検証のための試験導入を実施すべき。見解を問う。

市長 RPAを先行導入している自治体を参考に業務を選定し、効果の検証を行う。

質問 本年3月定例会で提案した河川の氾濫の備えとしての水位監視体制の進捗は。

危機管理監 不老川水位監視用のカメラを設置し、試験運用を行っている。

質問 試験運用の評価は。

危機管理監 河川水位を24時間監視することで、迅速な住民避難行動が行える。今後、複数箇所への設置を検討する。

質問 来年度から政府が運用を開始する「防災情報共有システム」を活用すべき。

危機管理監 情報収集力強化のために活用する方向で検討する。

質問 国道299号バイパスの新光中央交差点に補助信号機設置と市道幹50号からの右折路に右折矢印信号機設置を求める。

市民生活部長 狭山警察署に申し入れる。



カーブで見通しの悪い新光中央交差点



ヤングケアラー支援・SNS活用

坂本 優子 議員

質問 ヤングケアラーは家族のケアのため時間的な制約を受け、学業に支障が生じる場合がある。ヤングケアラーの認識は。

教育長 家庭の中に多様な問題を抱えている児童がいる認識はある。支援が必要な児童へは、家庭の状況に応じて対応する。

質問 「こどもの生活に関する調査」でヤングケアラーの存在を把握できたか。

こども支援部長 今回の調査では把握できなかったが、3月に報告書を作成する際、支援が必要な子育て家庭において、ヤングケアラー問題が潜んでいるか検証する。

質問 ヤングケアラーは家庭に潜在化し、孤立している。ヤングケアラーへの支援をどのように行なうのか。

市長 福祉・介護サービスが必要な方に

適切な支援を行うことで、家族である子どもへの負担を軽減させることが重要であると考え。子どもにとって最善の利益となるような支援を各部署が意識し、しっかりと連携を図りながら対応していく。

質問 市のイメージアップに向け、多くの人が利用しているSNSのスタンプに「いるティーン」を使用できないか。

企画部長 スタンプの制作を検討する。

【その他】「暮らしやすさの実現に向けた女性活躍推進」について



ヤングケアラーとは



公共施設耐震化長寿命化と再配置

宮岡 治郎 議員

質問 市役所等の耐震化方針について。

(1)市民会館との複合施設とした場合の諸問題は。(2)市役所のA棟B棟を耐震化する困難さは。(3)今後の計画の可能性と展望は。

総務部長 (1)ホールが縮小となり、汎用性の制約がある。立体駐車場が必要で、周辺の交通渋滞も生ずる。(2)1階に筋交いを設置し、吹抜けの2階3階に梁を渡す必要が有る等、大掛かりの工事が想定される。

市長 (3)複合施設も実現可能だが、市役所のC棟は残し、A棟B棟を建替えるだけ。市民会館は「単独施設」とし、耐震補強費と30年程度の使用を前提とする改修費を算出しつつ、広域化を含めた新築事業費等との総コスト比較により、方向性を定めたい。

質問 公共施設マネジメント事業計画に

ついて。(1)市全体の財政見通しは、どこまで明確に示せるか。(2)教育委員会を含めた幅広い連携と、地域ごとの意見の聴取は。

企画部長 (1)総額を把握し、年度間の効果的な予算配分を検証。実現性は担保出来、第1期計画10年間の財政見通しは提示可能。

市長 (2)原案は庁内調整を済ませて提案するもので、教委部局も含まれている。地域の特性を考慮しつつ、まちづくり等の方向性も踏まえる。3月の計画決定後、各地区の状況に合わせて、協議会を設置する。



庁舎を南西の方角から眺める
右側手前からA棟・B棟・C棟



生活保護制度の理解・部活動軽減

吉澤 かつら 議員

質問 誰もが生活に困った時に生活保護制度を利用する権利があるが実際には「生活保護は恥」との間違った認識がある。制度の理解に向け市報や講演会で周知すべき。

市長 誤解を与えるので、しない。

質問 「恥の認識を解消する目的で国民に教育を」と国連から勧告を受けている。他市ではシンポジウム、市報の特集、SNS等で広報している。入間市でも行うべき。

市長 検討はしていきたい。

質問 生活保護申請書が窓口で長いこと置いていなかった。対応をかえるべきでは。

市長 検討はしていく。

質問 生活保護でもH30年4月以降に条件を満たした人は冷房の支給を認めることに。必要な人に漏れなく対応しているのか。

市長 ケースワーカーが把握し、対応している。市内では、2件が適用された。

質問 内部障害など支援が必要な人に対する「ヘルプマーク」の活用と周知を。

市長 必要なことなので、今後も周知について広報していきたい。

質問 長時間の部活動が生徒・保護者・教員の負担になっている。生徒や保護者から改善を求める声もある。入間市の対応は。

教育長 県の方針に従い市の方針を作成。休養日等を設定し、内容は公表していく。



内部障害など見た目でも分からなくても援助を必要とする人へのヘルプマーク

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



排水事業及びアスファルト舗装

長谷川 渉 議員

質問 市街化調整区域内では下水道整備が厳しいのであれば環境の為に全ての世帯を合併浄化槽に切り替えていくことが必要。

環境経済部長 本市では、単独浄化槽は3362世帯、汲み取り便槽は295世帯で入間市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき補助金額は5人槽、本体工事費444,000円配管費120,000円処分費60,000円、合計624,000円で放流ポンプ槽を設置する場合は30,000円が増額になる。市の広報ツールを使って合併浄化槽に切り替える促進をしていく。

質問 市内排水事業で、市街化区域及び市街化調整区域の下水道整備の今後の方針。

市長 本市の下水道事業は最初に整備した管路設置が耐用年数を迎え耐震化も含め修繕及び改築が必要となり、市街化調整区

域への下水道整備は大変厳しい状況となる。

質問 (1)市道の砂利敷き舗装からアスファルト舗装に整備をする予定があるのか。(2)私道をアスファルト舗装整備する場合、通り抜け道路と行き止まり道路の費用負担。

都市整備部長 (1)アスファルト舗装でない道路は全体の29.1%で希望される場合は、市道舗装願書兼舗装工事承諾書を提出し優先順位の高い順に行く。(2)通り抜け道路は全額、市が負担、行き止まり道路はアスファルトを材料支給し工事費は申請者負担。



不老川への生活雑排水処理施設がある宮寺大橋付近



基地造成の中止を・安川通り歩道

安道 佳子 議員

質問 基地跡地の森が伐採され環境悪化が懸念。生活環境を守る対策はどうか。

市長 20m幅の緑地帯確保と、雨水対策として調節池を4箇所設け、運動場等の防塵対策も行い環境悪化を防ぐ。

質問 防衛省資料等を市HPで市民に公表し基地担当を市民に分かりやすく周知を。

市長 今後、防衛省資料等は市HPで公表する。HPの改善に努力する。

質問 審議会の答申・附帯意見の自衛隊病院について一般診療の受け入れに向け、防衛省と今後も協議を行うのか。

市長 二次救急患者を受け入れる。医師会との協議で一般診療は要請しない。

質問 自衛隊病院ができ、入間基地にC2輸送機が配備されると、基地機能が強化さ

れてしまう。造成工事は中止すべき。

市長 国を守るために必要な施設である。

質問 全国知事会が地位協定の抜本見直しを国に要請する提言を発表。近隣自治体と共同で国に地位協定の見直し要請を。

市長 県基地対策協議会で行っている。

質問 安川通り藤沢中学校停留所付近は歩道が狭いため歩道を拡幅して安全を図る必要がある。事業見直しはどうか。

都市整備部長 安川通りは2期目の事業に入っており、用地取得に向け努力する。



基地造成地の様子



市役所、市民会館の 耐震整備

野口 哲次 議員

質問 市役所、市民会館・中央公民館を耐震化する方法として、市役所はAB棟建替え、市民会館は耐震改修と移転新設の両面を検討していくとされた。

市は、当初から「複合化」に優位性があるとしてきたが、なぜ変わったのか。

市長 財政、駐車場、交通渋滞、市民の意見、議会の意見を総合的に考慮して今回の決定を行った。

質問 「複合化」は「市役所建替え・市民会館耐震改修」に比べて、イニシャルコストは約17億円高くなる。しかし、交付税の違いにより、市の一般財源が出すお金は2億円ほどの差になっているが。

市長 厳しい財政状況であるから、市民会館の耐震改修費用を正確に出して、それ

でもできるか判断する。

もし、できないということであれば、学校跡地など空いた公共用地や広域連携による新築移転を検討する。

質問 市民会館改修では、25年後には建て替えを要する。30年間では、市役所はAB棟建替え・市民会館耐震改修は、複合化より、30億円以上コストが高くなるが。

市長 30年間のコストを考えれば複合化がいいのだが、一年一年の財政支出を考えると市民会館は単独で改修することにした。



市民会館・中央公民館



児童生徒を大事にした 学校環境を

佐藤 匡 議員

質問 公共施設マネジメント事業計画によると、毎日の集団通学の距離が大幅に伸びるケースが出てくるが、問題はないか。

市長 入間市教育委員会は基本方針において小学校では4kmを想定している。計画策定後に通学区が検討されるが、現在の通学区だと最長4km以内に収まる。

質問 狭い敷地の藤沢東小学校に受け入れる余地があるのか。

市長 藤沢東小学校のグラウンドの面積は平均以上であり、建替えの後に統合するので、学校用地を効率的に活用できる校舎の配置が可能と考えている。

質問 学校の統廃合計画は災害対策を重要な柱として位置づけているのか。一時避難所としての収容人数は。

市長 藤沢東小学校では、避難所として1,468人を見込んでいる。

質問 避難者一人あたりの床面積は。

市長 一人あたり3㎡で計算している。

質問 来年3月の公共施設マネジメント事業計画決定を撤回して再検討すべき。

市長 人口減少、少子化、超高齢社会等の将来が明らかな中で、この問題を放置したままでは将来を担う世代に大きなつげを残すことになる。平成31年3月には予定通り計画を策定し開始しなければならない。



藤沢東小学校と統合が検討されている藤沢南小学校

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



子育て支援・ 建武橋架け替え事業

古仲 リカ 議員

質問 保育施設申込みが始まり(1)保育施設利用申し込みの調整基準は(2)育児休業になった時のこども保育はどうなるのか(3)育児休業継続を目的とした申込みの対応は(4)2月出産予定の方へ配慮があるのか(5)希望施設に入所できない保護者への対応を。

こども支援部長 (1)基準表をもとに世帯・児童調整を加算し合計点で判断(2)育児休業にかかる児童が1歳の誕生日に属する月の月末までは継続利用できる(3)受付時に確認と用紙に記入箇所を設け対応(4)4月入所の要件が無い方へ5月1日以降の利用調整を行っている(5)可能な限り配慮している。

質問 「子育て緊急サポート事業」が11月15日に始まり取組内容と周知方法を。

こども支援部長 緊急時の一時預かり、

送迎等行う事業。チラシやポスター等周知。

質問 年齢制限や少額の補助等条件付きで子どもインフルエンザ予防接種に補助を。

市長 現段階では費用補助は考えてないが今後、提案のような研究はしていきたい。

質問 建武橋架け替え事業の進捗状況と今後のスケジュール。また仮設道路を活かし両側歩道の設置等検討があるのか。

都市整備部長 施工業者を選出、設計中、来年説明会後に着手予定。工期は全体で約10年、仮設道路は改良工事後に撤去予定。



武蔵藤沢駅に隣接している工事前の建武橋（左）と仮設道路全体予定図（右）



保健師の地区担当制・ 自衛隊病院

松本 義明 議員

質問 保健師の地区担当制の現状課題は。

健康推進部長 関係機関、地域団体との連携が図れるようPRに努める。認知度が低く、生活場面に入り込んで活動する。

質問 保健師地区担当制の更なる推進を。

健康推進部長 地域ぐるみの健康づくりにつながる活動を推進していく。

質問 地域診断の現状課題は。

健康推進部長 地域の健康カルテのようなもので、市民へ配布し情報提供していく。内容を更に深めていくことが必要である。

質問 地域診断の更なる活用は。

健康推進部長 健康課題の解決に向けた取り組みを実践する。行政計画に反映する。

質問 自衛隊入間病院の整備進捗状況は。

企画部長 調査工事、設計業務、土壌処

分を完了し、現在は造成工事、病院本体の設計に向けた契約手続きを進めている。

工事完了時期は2021年度中の見込みである。

質問 自衛隊入間病院における2次救急の受け入れに関する調整状況は。

企画部長 2次救急受け入れに向け、防衛省が地元医師会等と調整を行っている。

【その他】 带状疱疹ワクチンの接種について、埼玉県西部まちづくり協議会について（日高市の加入による機能拡充）質問した。



自衛隊入間病院（仮称）の完成イメージ図



小中学生の登下校時の鞆を軽く

金澤 秀信 議員

- 質問** 小中学生の登下校時の鞆の重さが全国でも問題化。従来入間市の小中学校では原則「置き勉」を認めておらず、子どもの負担軽減のため早急な改善が必要では。
- 教育長** 文科省からの事務連絡もあり、各学校に柔軟に対応するよう通知した。
- 質問** 東京五輪・パラリンピック開催まで2年を切り、市としての積極的関与が望まれる。ボランティア予定の入間市民への多角的な支援を全庁的に検討できないか。
- 市長** 近隣市と協議の上支援を検討する。
- 質問** 白梅幼稚園前の交差点は、車両の通行量も多い上、白梅幼稚園、藤沢小、狭山ヶ丘学園の児童・学生など通行者も多く交通事故が多発。先日関連学校の代表者や地元区長の連名で警察署長宛に「歩行者用

信号機付き定周期式信号機設置の要望書」も提出した。市としても積極的に要請を。

市長 危険な交差点でもあり強く要請。

質問 信号機設置まで時間がかかる。立体的に浮き出て見える路面標示の検討を。

市長 警察と現地調査の上検討する。

質問 バリアフリー化推進のため10年前に提案した市庁舎AB棟地下1階からの車いす利用者の出入りについて再度提案する。

市長 万全な安全対策や必要な駐車台数および費用対効果も含め早急に検討する。



信号機設置が望まれる白梅幼稚園前交差点



ハラスメント・電子母子健康手帳

細田 智也 議員

- 質問** ハラスメントに対する市の認識は。
- 市民生活部長** 重大な人権侵害である。
- 質問** セクシャルハラスメント等の相談状況・体制は。
- 市民生活部長** 庁舎内の相談は無い。窓口は人事課である。市民相談の状況は「パワハラ12件」「セクハラ1件」。窓口は、男女共同参画推進センターの「女性の悩みごと相談」等で行なっている。
- 質問** 今後の取り組みは。
- 市民生活部長** 各種啓発ポスター、講座、講演会による周知・啓発を行う。引き続き、被害者の状況に応じて適切に関係機関に繋いでいく。
- 質問** 妊産婦への支援体制は。
- 健康推進部長** 母子健康手帳交付時に妊

婦に対するアンケートを実施し、心身の状態、家族等の確認。妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みの相談に応じている。

質問 電子母子健康手帳の導入を。

健康推進部長 導入については今後の研究課題である。父親を含めた家族への電子情報の提供については、電子母子健康手帳の導入と合わせ、対応を図っていきたいと考えている。

【その他】次世代の命の尊さを学ぶ育成・支援について(性に関する教育)



パワハラ6類型

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



男女共同参画の視点 で防災力強化

向口 文恵 議員

- **質問** 市では男女共同参画の視点での防災計画が始まっている。①「第3次いるま男女共同参画プラン」の総括と評価は②意思決定の過程では3割を女性の委員としているが市の防災会議での女性の人数は。
- **市長** ①平等意識は進んでいるが実態との乖離かいりは大きく啓発が必要②34名中6名
- **質問** 実践可能な計画には防災力のある女性リーダーの育成が必要。たとえば防災士などの資格取得に助成ができないか。
- **市長** 様々な事業の中からリーダーとなってもらおう仕掛けをつくる。助成金などは今後研究していきたい。
- **質問** やまゆり荘の休館日をていーろーどの連休日に合わせ、日曜日にできないか。
- **福祉部長** ていーワゴンの実証運行が1

年間延長されたので、この間に意識調査、審議会の意見を参考に研究する。

質問 特定検診・がん検診の集団検診にインターネット予約の導入ができないか。

健康推進部長 導入の効果は市民の利便性、受診率、事務効率の向上が期待できる。事例を検証し導入に向けた研究をしていく。

質問 市民会館で実施されている高齢者「認知機能検査」で証紙販売ができないか。

会計管理者 近隣市と調整し県に要望や管理者の入間市振興公社と調整、検討する。



埼玉県の男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営の冊子



武道授業・ 学校樹木管理について

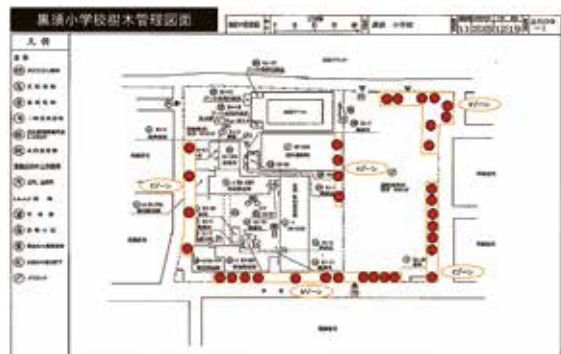
小島 清人 議員

- **質問** (1)指導方法の現状は。(2)指導者は。
- **教育長** (1)1・2年生は、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開する。3年生は、技を高め、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、けが防止の工夫をして、精神面での成長を促すための指導をしている。(2)授業での指導は保健体育科の教師が担当し、埼玉県教育委員会が主催している研修会に参加し、主に指導法、事故防止のための方法を習得している。
- **質問** 部活動について (1)通常の部活動は。(2)夏季の部活動は。
- **教育長** (1)午後の活動は、下校時間15分前まで。土・日曜日は1日あたり3～4時間程度。(2)熱中症対策の指針を作成し各学校に通知して、活動前後の健康観察を行う。

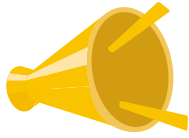
質問 学校の樹木管理について (1)管理の現状は。(2)今後の管理は。

教育部長 (1)敷地内には多種多様な樹木があり、市内小中学校の樹木の状況を調査し、平成28年度に樹木管理台帳を作成し、運用を開始した。(2)樹木の生長の程度や健康状態と天候の影響を受ける可能性について把握し、安心安全な学校となるよう管理していく。

【その他】 けやき通りの街路樹について



黒須小学校樹木管理図面



入間市インタビュー 市民の声

interview 1



宮寺の友 自然・地域・友

宮寺
広田 正行 (主夫 (料理担当))

宮寺の公民館活動 (ゆうゆうセミナー) でハイキングを実施して狭山丘陵の奥の深さが判り、その後歩く会を発足して10年目。昨年の10月は不老川散策を実施 (やすらぎ橋～金井沢橋迄) 土手の草も多く、慎重に歩き危険と思われる箇所はロープを設置。安全を優先して無事通過。今年4月～不老川の排水指導員を仰せつかり、担当の区域の川底に土砂が多く見受けられる。この土砂を排除出来たら流れも良くなり、魚類の泳ぎも見えて不老川が美しい川になる兆候があると思います。

土手を散歩する人が魚の姿を見ると心が安らぎます。

interview 2



みどりまち・ビジョン

仏子
新井 馨 (主婦)

私の亡き父の薦めで、仏子に在住して30年余りになります。我が家の隣には、文化創造アトリエ・アミーゴがあります。晴天の日にはアミーゴを背景に、高麗郷にある日和田山から、秩父にそびえ立つ武甲山、秩父連山、雲取山までの大パノラマが満喫できます。都会の喧騒から我が家に帰るとこの風景は、かけがえのない宝物のように感じます。昨今、日本各地で災害が多発しています。県西南部に位置する入間市は災害に余り縁が無いように思われます。

自然に恵まれ、災害に強く、生活面に不便もない入間市は、まさしく将来、躍進可能な街であると確信しております。

みどり豊かな特性を活かし、市民によるムーブメントを広げ、その魅力を日本全国そして世界に発信していこうではありませんか。



いるま市議会だより No.185

表紙 / 梅とメジロ
撮影 / 市民カメラマン
黒田 健治さん
編集 / 議会広報委員会

◎宮岡 治郎 ○松本 義明
小出 亘 末次 正
長谷川 渉 古仲 リカ
内村 忠久 細田 智也
野口 哲次
発行 / 入間市議会
インターネットアドレス
<http://www.city.iruma.saitama.jp/gikai/>

3月定例会日程案

- 2月 19日 (火) 開会
- 2月 25日 (月) 総括質疑
- 2月 26日 (火) 総括質疑
- 3月 4日 (月) 総務常任委員会
- 3月 5日 (火) 都市経済常任委員会
- 3月 6日 (水) 福祉教育常任委員会
- 3月 8日 (金) 一般質問
- 3月 11日 (月) 一般質問
- 3月 12日 (火) 一般質問
- 3月 19日 (火) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。

